【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第２部門第７区分
【発行日】平成19年4月19日(2007.4.19)

【公開番号】特開2005-280920(P2005-280920A)
【公開日】平成17年10月13日(2005.10.13)
【年通号数】公開・登録公報2005-040
【出願番号】特願2004-98279(P2004-98279)
【国際特許分類】
Ｂ６５Ｈ　1/02　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　13/00　(2006.01)
Ｂ４１Ｊ　2/01　(2006.01)
Ｂ６５Ｈ　1/04　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｂ６５Ｈ　1/02　Ａ
Ｂ４１Ｊ　13/00
Ｂ４１Ｊ　3/04　１０１Ｚ
Ｂ６５Ｈ　1/04　３１０Ｃ

【手続補正書】
【提出日】平成19年3月7日(2007.3.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
媒体を給送ローラを用いて給送する媒体給送装置であって、
給送する前記媒体を傾斜させた状態で当該媒体上部を支持する媒体支持部と、
給送する前記媒体を傾斜させた状態で当該媒体下部を支持し、当該媒体を給送する際に前記給送ローラに当接させる当接部と、
前記媒体支持部と前記当接部を可動自在に支持する枠部とを備え、
前記媒体支持部は、
前記枠部に対して収納・引出自在に配設され、
引き出された際に、当該媒体支持部の下端が前記当接部の上端部に近接する位置で停止することを特徴とする媒体給送装置。
【請求項２】
前記媒体支持部が引き出された際には、当該媒体支持部の媒体支持面と前記当接部の媒体支持面とが段差の無い平坦な面になることを特徴とする請求項１に記載の媒体給送装置。
【請求項３】
前記媒体支持部は、突出・引込自在な摺動部を備え、前記枠部に形成されている案内溝部に沿って摺動し、引き出されたときに前記摺動部に形成されている係止部と前記案内溝部に形成されている係止部とが係止することを特徴とする請求項１または２に記載の媒体給送装置。
【請求項４】
媒体に記録する記録装置であって、
請求項１～３の何れか一項に記載の媒体給送装置を備えたことを特徴とする記録装置。
【請求項５】
被噴射媒体に液体を噴射する液体噴射装置であって、

請求項１～３の何れか一項に記載の媒体給送装置を備えたことを特徴とする液体噴射装置。
【手続補正２】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００７
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００７】
上記目的達成のため、本発明の媒体給送装置では、媒体を給送ローラを用いて給送する媒体給送装置であって、給送する前記媒体を傾斜させた状態で当該媒体上部を支持する媒体支持部と、給送する前記媒体を傾斜させた状態で当該媒体下部を支持し、当該媒体を給送する際に前記給送ローラに当接させる当接部と、前記媒体支持部と前記当接部を可動自在に支持する枠部とを備え、前記媒体支持部は、前記枠部に対して収納・引出自在に配設され、引き出された際に、当該媒体支持部の下端が前記当接部の上端部に近接する位置で停止することを特徴としている。これにより、媒体支持部の支持面の大きさを変更することができるので、使用時は支持面を大きくして媒体の全面を支持することができ、不使用時は支持面を小さくしてコンパクトに収納することができる。
【手続補正３】
【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００８
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００８】
また、前記媒体支持部が引き出された際には、当該媒体支持部の媒体支持面と前記当接部の媒体支持面とが段差の無い平坦な面になることを特徴としている。これにより、媒体を平坦な状態に維持したまま給送することができるので、給送エラーを防止することができる。また、前記媒体支持部は、突出・引込自在な摺動部を備え、前記枠部に形成されている案内溝部に沿って摺動し、引き出されたときに前記摺動部に形成されている係止部と前記案内溝部に形成されている係止部とが係止することを特徴としている。これにより、媒体支持部の収納・引出をスムーズに行うことができるので、媒体のセット作業を簡易に行うことができ、また、媒体支持部の引出状態を維持することができるので、媒体を常に精度良く給送することができる。